

## 「道の駅 只見」(仮)の整備に向けて参考となる事例

## ●地方創生の拠点となる「道の駅」の類型別機能イメージ

国交省により、一定の成功を収めている事例の分析した結果、地方創生にむけて機能を発揮する「道の駅」の類型を「ゲートウェイ型」と「地域センター型」の二つに大別されている。

地域外から活力を呼ぶゲートウェイ型		地域の元気を創る地域センター型	
インバウンド観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語に対応した案内など、外国人案内所認定の取得</li> <li>・地酒やお菓子など、地域の特産品を免税で購入できる免税店の併設</li> <li>・外国発行クレジットカードの利用可能 ATM の設置</li> <li>・無料公衆無線 LAN 環境の提供</li> <li>・電気自動車による周遊観光を可能とする EV 充電設備の設置 等</li> </ul>	産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特産品によるオリジナル商品開発、ブランド化</li> <li>・直接的な雇用に加え、地元生産者からの調達による雇用の創出</li> <li>・地元農林水産物を活用した 6 次産業化のための加工施設や、直売所の設置 等</li> </ul>
観光総合窓口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会等と連携した地域全体の観光案内機能</li> <li>・宿泊予約やツアー手配のための旅行業の登録</li> <li>・単なる物見遊山にとどまらない、史実・文化など知的好奇心を刺激する機会の提供</li> <li>・地域資源を活かした体験・交流機会の提供 等</li> </ul>	地域福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療所、役場機能など、住民サービスのワンストップ提供</li> <li>・高齢者への宅配サービス</li> <li>・健康、バリアフリーに配慮した高齢者向け住宅の併設</li> <li>・子育て支援施設</li> <li>・地域公共交通ネットワークの乗継ぎ拠点</li> <li>・SS (サービスステーション) 過疎地における石油製品の供給拠点機能 等</li> </ul>
		交通結節点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の結節点として地域住民に交通サービスを提供する</li> </ul>
地方移住等促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家情報や就労情報など、地方移住に必要な情報のワンストップ提供</li> <li>・若者に地域の魅力を体験する機会の提供</li> <li>・運営スタッフの公募等による雇用機会の創出</li> <li>・ふるさと納税に関する情報提供 等</li> </ul>	防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自衛隊、警察、消防等の広域支援部隊が参集する後方支援拠点機能</li> <li>・地場製品の取り扱いや燃料保有・非常電源装置等によるバックアップ機能</li> <li>・平時から防災啓発教育のため、既往災害等の情報発信 等</li> </ul>
交流連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域間交流・連携、地域内交流、交流施設、他の道の駅との交流、産学連携 等</li> </ul>		

● 「道の駅 只見」(仮) の参考事例

只見町における「道の駅」整備に関わる参考事例として、前述の“地域の元気を創る地域センター型”機能を有し、全国モデル「道の駅」・重点「道の駅」・重点「道の駅」候補（国土交通省）に取り上げられている「道の駅」の中から、立地特性が似通っている「農村部」「山間部」に立地している「道の駅」を数カ所に整理することとする。その他、先進事例をまとめている書籍からも抽出した。

① 道の駅 「遠野風の丘」(岩手県 遠野市)

○防災拠点

東日本大震災では、復旧、救援に向かう自衛隊・消防隊やボランティアの方々の後方支援拠点として機能

○産業振興の拠点

沿岸被災地の海産物を販売する鮮魚店を開設し、被災地の復興を支援

○観光や地方移住等、総合案内拠点

観光案内所では、沿岸地域の観光復興に向け情報を発信

ふるさと納税制度の紹介、納税者には、「道の駅」の特産品を提供

② 道の駅 「もてぎ」 (栃木県 茂木町)

○「道の駅」を核とした6次産業化

「道の駅」が農家から柚子等を全量買取、手作業で加工、オリジナル商品（33種類）を開発、販売

○地域のにぎわいの拠点

創意工夫の取り組みで利用客数、販売額は10年間で1.3倍に増加

○地域の防災拠点

防災力向上のための防災館を併設。平時からの防災啓発に活用

○ふるさと納税の推進

道の駅の商品をふるさと納税のお礼として地域PRに活用

③ 道の駅 「瀬替えの郷せんだ」(新潟県 十日町市)

○冬期活用

夏と冬の2面活用を目指す豪雪・中山間地の道の駅

○「道の駅」を核に農業実習、移住窓口

夏は農業実習生の受け入れ拠点に、冬は高齢者の共同生活の場として道の駅で越冬し、過疎・高齢化が進む豪雪地帯で、担い手確保と生活支援を同時に担う「道の駅」

④ 道の駅 「あおき」 (長野県 青木村)

○体験交流拠点

地元NPOの体験学習で年間2,148人（うちインドネシアなどからのホームステイ214人）が来訪する

「体験学習の村」(H25実績)

○高齢者サービス、地域防災拠点

特産品の開発・継承及び高齢者宅配サービス等の拠点機能を新設、体験交流拠点機能の拡充、ドクターヘリによる救命緊急患者搬送拠点、大規模災害時での自衛隊等の参集可能な村内唯一の防災拠点として機能の大幅な強化を図る。

⑤ 道の駅 「瑞穂」(島根県 邑南町)

○農家による農家の店

400人を超える組合員が出荷、生産者の顔の見える化を推進。

○ネット通販を導入「みずほスタイル」

早くHPを立ち上げ、ネット通販に力をいれ、町の逸品を紹介するだけでなく、観光・イベント情報、宿泊情報、農業体験・空き家情報も併せて発信。

① 道の駅 「遠野風の丘」(岩手県 遠野市)(人口 約 26,170 人 面積 約 830 km<sup>2</sup>)

道の駅の有する機能									管理運営		
観光 インバウンド	観光総合窓口	進 地方 移住等 促進	産業 振興	地域 福祉	交通 結節 点	防災	交流 ・ 連携	直 営	指定管理者		
									タ ー 第 三 セ ク	そ の 他	
	●	●	●			●	●				●



基礎情報

施設概要	インフォメーション、産直・物産ホール、漁師の魚屋、レストラン風車		
特徴的な施設	「漁師の魚屋」：三陸(大船渡)で水揚げしたさんまを中心とする三陸の魚介類を直売。 遠野朝市の店：季節ごとに数十種類の漬物を販売、生産者直売の店 スパイラルマグナス風車：羽根の形がネジ巻き棒という一風変わった風車		
駐車場	大型：14 台 普通車：161 (身障者用 3) 台	トイレ (24H)	男子トイレ：12、身障者用 1 女子トイレ：洋式 8、身障者用 1
管理運営	一般社団法人遠野ふるさと公社		

取り組み内容

観光総合窓口	さむかぜプラザ(観光情報、道路情報、イベント情報、グリーンツーリズム情報、天気予報、プレイガイドなど) 沿岸地域の観光復興に向け情報を発信。
地方移住等促進	ふるさと納税制度の紹介、納税者には、「道の駅」の特産品を提供
産業振興	施設では、150 を超える市内の農業者、商工業者が生産・加工・製造した農産物や特産品が販売されており、遠野市の地域経済にとって重要な役割を担っている。 平成 30 年の東北横断自動車道釜石・秋田線の全線開通に伴い、市内を走る自動車の交通量が 4 割減少し「遠野風の丘」の販売額も減少したが、個々の商品の魅力向上と販路開拓に取り組むとともに、高齢化する農業者や商工業者が農産物や特産品を供給できるための運搬手段の工夫を始めている。 復興に向け、沿岸被災地の海産物の販売所を新設。
防災	東日本大震災の発災時には、復興に向けた支援拠点となった。 岩手県広域防災拠点配置計画の広域防災拠点に位置づけられ、ベースキャンプ、備蓄等の高度な防災機能を分担している。 さらに風車を設置し、自然エネルギーの活用に努めている。
交流・連携	岩手県内「道の駅」の共通販売商品を開発
主な効果等	共用開始から 20 年、多くの農業者、商工業者の生産・加工・製造した農産物特産品の販売により遠野市の地域経済の重要な役割を担ってきた。 施設のリニューアルに伴い、個々の製品・商品のさらなる魅力向上が求められている。
地域団体との連携等	風の丘で販売される農産物の食品ロスや特産品の販売ロスを抑制させるため、来訪客の属性に応じた商品紹介の自動化に向けた実証試験を遠野ふるさと公社と岩手大学と共同で行っている。

② 道の駅 「もてぎ」 (栃木県 茂木町) (人口 約 11,760 人 面積 約 173 km<sup>2</sup>)

道の駅の有する機能									管理運営		
観光	観光総合窓口	進	地方移住等促進	産業振興	地域福祉	交通結節点	防災	交流・連携	直営	指定管理者	その他
	●	●	●				●			ター	●



基礎情報

施設概要	おみやげけやき(櫛)、十石屋：手づくりアイスクリーム：野菜直売所：レストラン桔梗：おもてなし情報館		
特徴的な施設	茂木町防災館：太陽光発電を使った照明や、非常用電源、物資保管倉庫などを備えた防災施設 旧古田土雅堂邸：明治初期から大正時代にかけてアメリカで活躍した日本画家・古田土雅堂。彼が宇都宮に帰国する際に、輸入した組み立て住宅		
駐車場	小型車 331 台、大型車 5 台、身障者用 4 台	トイレ	男 19、女 13、身体障害者用 1、母子用 2
管理運営	第三セクター 株式会社もてぎプラザ (指定管理者制度)		

取り組み内容

観光総合窓口	おもてなし情報館：マルチメディアを使って、多くの情報を提供。 ・道路情報及び近隣の道の駅情報 ・観光情報：周辺の観光等について掲示板等により提供、詳細については案内人が提供 ・その他の情報：案内人が常駐しているので個別に対応可能
地方移住促進	ふるさと納税の推進：道の駅の商品をふるさと納税のお礼として地域 PR に活用 会員数 3,000 人を超える道の駅のファンクラブ「もてぎすきだっぺクラブ」の創設
産業振興	・「道の駅」を核とした 6 次産業化 六次産業化の拠点として、町の特産品であるゆず等を商品化し、道の駅もてぎオリジナル商品として販売することにより、町産業の振興を図る 農場経営：直売所出荷者の高齢化に伴う対応 6 次産業の拡大：規格外野菜を活用した商品づくり 菌床きのこ栽培所の安定化
防災拠点	防災力向上のための防災館を併設。平時からの防災啓発に活用 避難所、備蓄倉庫、太陽光発電
主な効果	雇用の場として機能している 町職員の研修の場となっている。1～2 年目の町職員は「道の駅」の売り場にている。
地域団体との連携等	跡見女子大学と、観光による地域活性化を学ぶインターンシップ協定を結び、平成 28 年から大学生を受け入れている。

③ 道の駅 「瀬替えの郷せんだ」(新潟県 十日町市)(人口 約 51,350 人 面積 約 590 km<sup>2</sup>)

道の駅の有する機能								管理運営		
観光 イン バウ ンド	観光 総合 窓口	進 地方 移住 等促 進	産 業 振 興	地 域 福 祉	交 通 結 節 点	防 災	交 流 ・ 連 携	直 営	指定管理者	
									タ ー 第 三 セ ク ター	そ の 他
		●	●	●	●					●



基礎情報

施設概要	農産物直売所（地元スーパー的役割）、食事処、大小会議室		
特徴的な施設	夏と冬の2面活用を目指す豪雪・中山間地の道の駅 体験交流館キラリ：農村景観や生活文化等を活用して、交流・集会・実習・展示などを多面的に行い、新しい農村・元気な農村づくりの拠点施設として運営 雪室：地下式の雪室には、小学校の教室約 5.3 杯分の雪が入っている。米、野菜、味噌などの貯蔵や館内の冷房にも使用されている。		
駐車場	小型車 73 台、大型車 5 台、身障者用 4 台	トイレ	男 5、女 5、身体障害者用 1
管理運営	株式会社あいぼーと仙田（指定管理者）		

取り組み内容

地方移住等促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方移住をすすめるため、新規就農の支援</li> <li>地方移住に必要な空き家情報や就労情報などのワンストップ提供</li> <li>夏には農業実習生の受け入れ（「せんだ元気ハウス」に宿泊）</li> <li>過疎・高齢化が進む豪雪地帯で、担い手確保と生活支援を同時に担う</li> </ul>
産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>人で不足解消のため、実習生を受け入れ基幹産業の農業を持続させている。</li> <li>地元農産物による産業活性化</li> <li>地元農産物の加工施設や直売所の設置</li> </ul>
地域福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬期は高齢者の生活支援 ・高齢者の越冬のための共同生活の場となる「せんだ元気ハウス」の設置</li> <li>生活サービスの集約（地域のお茶の間）</li> <li>日用品販売所（ミニスーパー）、ATM、交流の場の設置（「あいマート」は仙田 楽楽市場の継承と買い物の不便を解消するために開いたものである）</li> <li>「雪かき道場」開設による除雪ボランティアの育成</li> <li>高齢者の移動支援（道の駅を拠点としたコミュニティバスの運行等）</li> </ul>
交通結節点	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活関連施設へのアクセス支援（市役所 約 9km、金融機関 約 9km）コミュニティバスの運行</li> </ul>
主な効果	<p>高齢化が進む中山間地で、住民が安心して生活できる環境を提供しつつある。 その地域が直面している課題に取り組んでいる道の駅である。</p>
地域団体との連携等	コンビニ業者および農業協同組合からの店舗経営支援と業務提携

④ 道の駅 「あおき」 （長野県 青木村）（人口 約 4,360 人 面積 約 57 km<sup>2</sup>）

道の駅の有する機能								管理運営		
観光 インバウンド	観光総合窓口	進 地方移住等促	産業振興	地域福祉	交通結節点	防災	交流・連携	直営	指定管理者	
									ター 第三セク	その他
●	●	●	●	●		●	●			●



基礎情報

施設概要	農産物直売所、味処こまゆみ、軽食店 戀渡屋（こいどや） ぷらっと家(ホーム)あおき（情報発信・休憩施設）				
特徴的な施設	ふるさと体験館（信州のそば打ち体験・信州のおやき作り体験ができる）インストラクターは地元住民 昆虫館・情報ギャラリー（ぷらっと家(ホーム)あおき内）				
駐車場	小型車 52 台	大型車 8 台	身障者用 2 台	トイレ	男子:7、女子:5、子供用:2、多目的トイレ:1
管理運営	株式会社 道の駅あおき（指定管理者制度）				

取り組み内容

インバウンド 観光	地元 NPO の体験学習で年間 2,148 人（うちインドネシアなどからのホームステイ 214 人）が来訪する「体験学習の村」（H25 実績）
観光総合窓口	道の駅を拠点として体験交流窓口を設置し情報発信を強化するとともに、旅行業登録により オプションツアーを旅行会社へ売り込みを行う等、更なる体験交流人口を増加させ、将来的な定住希望者の増加を図る。
地方移住等促進	移住定住・コーディネータを配置し、村内の空き家情報を提供するとともに、村が活用を進めている田舎暮らしお試し住宅や二地域居住体験住宅の案内など。 移住・定住に向けてのワンストップで情報提供と移住定住に向けての相談業務を行う
産業振興	加工施設を増築、見返り漬け生産者の育成、特産品の開発機能を充実
地域福祉	村内の高齢者を中心とした買い物・交通弱者の利便性を高めるため、道の駅「あおき」を拠点とした生活必需品（食品・惣菜・加工品など）の電話やインターネットによる販売・宅配サービスを実施 子育て世代の母親を中心としたフレックスで働ける場を提供
防災	ドクターヘリによる救急患者搬送拠点、大規模災害時での自衛隊等の参集可能な村内唯一の防災拠点。 蓄電池、ガス備蓄タンク、ヘリポート等の防災機能施設
交流・連携	道の駅「あおき」を中心に、首都圏を中心とした大学生の学び・体験のフィールド・インターンシップの場としてした村全体を学びの環境を整え、青木村の交流人口の拡大に取り組んでいる。
主な効果	
地域団体との連携等	

⑤ 道の駅 「瑞穂」(島根県 邑南町) (人口 約 10,410 人 面積 約 419 km<sup>2</sup>)

道の駅の有する機能									管理運営		
観光 イン パ ウ ン ド	観光 総合 窓 口	進 地 方 移 住 等 促	産 業 振 興	地 域 福 祉	交 通 結 節 点	防 災	交 流 ・ 連 携	直 営	指定管理者		
									ター ミ ナル	第 三 セ ク ター	そ の 他
			●		●						●



基礎情報

施設概要	土産物売り場、農産物加工場、産直市、観光案内所、レストラン、ネット販売		
特徴的な施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>産直市みずほ 品揃えの豊富さ、組合員手作りによる弁当や当地域の郷土料理。 生産者の顔写真を壁に貼りだし、信頼性を高めている。 ターゲットは広島県からの観光客 50%、邑南町内 20%、その他 30%。</li> <li>ネット販売 自慢の特産品をこだわりの逸品として売り出すため、生産者に広く声かけしネット通販への参加を呼びかけた。</li> </ul>		
駐車場	小型車 23 台、大型車 3 台、身障者用 2 台	トイレ (24H)	男 大 3、小 6、女 7 身障者 1
管理運営	「産直市みずほ企業組合」(指定管理者)		

取り組み内容

産業振興	<p>道の駅構内に産直市として、地元でとれた野菜を中心に野菜苗、花苗、農産物加工品を販売している。</p> <p>「産直市みずほ企業組合」の組合員であれば当駅がオープンしている午前 7 時から午後 6 時までの間、バーコードおよび品質表示ラベルを添付の上、都合の良い時に出荷でき、残品については各自が引き取るシステム。組合員は邑南町の町民であれば誰でもなれ、入会金の額により正組合員と準組合員に区別される。組合員は 400 人以上であり、そのため品揃えが豊富である。</p> <p>地域対象だけでなく、ネット販売「みずほスタイル」を積極的に展開したことで対象が全国に広がっている。</p>
交通結節点	<p>もともと JR バスのターミナル (田所駅) だった施設を道の駅として再整備したもの。</p> <p>現在もバスターミナルとして機能している。</p>
主な効果	<p>周辺にも同様な農産物直売所が数多く開設されているが、差別化を図るため今まで以上に安心・安全な野菜を提供できるように取り組んでいる。農業に関するトレーサビリティを構築し、各種情報データを管理し企業組合でチェックする方式をとっている。</p> <p>農産物の販売促進や農業と観光との連携による観光振興など農業を中核とした産業振興の実現に向けて露骨的役割を果たしている。</p>
地域団体との連携等	